

株式会社ニワショーセラム

愛知県尾張旭市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

蓄積した独自の生産技術を武器に、時代をリードする新開発に挑む

- 原料製作から最終製品までの一貫生産による、ユーザーニーズに迅速に対応した新商品の安定供給を実現
- 最新設備と新技術の探求により、生産の増強や品質管理向上を実現し、地域住民を中心とした人材を確保
- 環境規制に対応するため、自動車用酸素センサーの空燃比コントロールをより精密にできる新製品等を製造

企業基本情報

所在地	愛知県尾張旭市旭台1丁目2番地1
電話/FAX	0561-53-3321/0561-54-3726
URL	http://www.niwasho.co.jp
代表者	代表取締役社長 丹羽 誠
設立	1928年
資本金	1,412万円
従業員数	186人



会社概要

1928年機器用碍子メーカーとして瀬戸市で創業。1960年代に現在の尾張旭市に本社及び機器用碍子製造拠点を集約。1971年にはファインセラミックスの分野に進出し、豊田市にファインセラミックス工場を建設し生産を開始。機器用碍子、ファインセラミックス共に高い技術と品質を持つ。機器用碍子は、多くの大手重電メーカーを客先とし電力会社等で使用され、ファインセラミックスは、大手の自動車部品メーカーや家電メーカー等を客先に持ち様々な工業品の分野で使用されている。

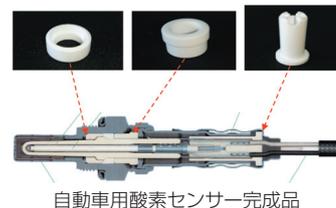


会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

標準化、自動化による品質の安定と生産性の向上

機械化やロボット等を用いた自動化を進めてきている。特に、今後増産が見込まれるファインセラミックス部品の製造に対し、品質的にも量的にも安定生産ができるように、プレス成形された製品の取り出しや、棚板に整列させて置くといった作業を完全にロボット化して24時間稼働を可能に。併せて、TPM活動等を行うことにより機械稼働率を高め、省人化も行い原価の低減を実現し競争力を高めている。そして現在は、現行生産量の1.58倍の生産を可能とする体制を構築すべく取り組んでいる。



ユーザーニーズを第一主義とした一貫生産

原料から社内で生産することにより原料段階から客先の要望に答えることが出来ると共に、製品の品質を安定させている。あわせて、ファインセラミックスにおいては、生産工程が高度に機械化され、自動車関連の部品等の高い品質、信頼性が要求される部品を大量に安定して供給できる世界でも数少ないメーカーである。また、碍子においては、多様な成形方法を有する事により様々な客先の要望に対応でき、品質面でも管理体制や設備も整い、製品は高度な信頼性を要求される電力会社等で使われている。



増産計画に対応した体制整備のための人材活用

高齢者や女性を働きやすくするため、作業における肉体的な負荷が低減されるよう機械化やロボット化を活用。その結果、現在、従業員186名中、女性が91名、60歳を超える高齢者は15名となっている。また、外国人も22名在籍し、作業長として活躍する外国人女性もいる。人材育成にも力を入れ、社内教育の他にも社外の教育機関も活用し、ものづくり・省エネ関係、品質関係、環境安全関係等のセミナーを受講させる等して人材育成を図っている。

